

地区名 横手市

所在地 横手市フルーツライン

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ × 水のはたらき

## 露頭までの道のり

横手市の国道107号線から平鹿や増田へと続く広域農道、通称フルーツライン沿いにある。防山トンネルを横手市側から抜けるとすぐ左手に見える場所が露頭となる。

## 安全上の留意点

交通量の比較的多い農道沿いであるため、交通事故には十分注意する。露頭は広いが、中に沼のような場所があり周囲に立ち入りを規制するロープがある。観察の最中に児童から目を離さないことが大切。観察の視点を明確にして児童の活動できる範囲を周知させておけば、それほど危険な観察場所ではないと思われる。

## 観察のポイント

- ①厚く泥の層が堆積していること。
- ②粒が細かな泥岩の手触りを感じる。
- ③角ばった火山岩がないこと。
- ④大きな地層の広がりを感じる。

## 地質年代

新第三紀中新世後期(約1000万年前)

## 解説

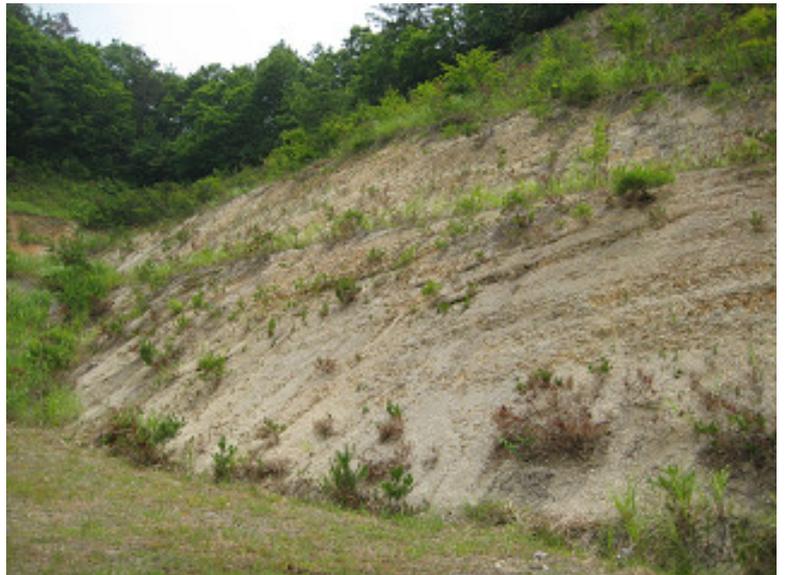
船川層と見られ、手で簡単に割れるほどの柔らかい泥岩の層が広がっている。他の船川層が見られる露頭では火山灰層を挟むことがあるが、ここでは明確に見ることはできなかった。露頭のどこを見渡しても粘土(泥岩)しかないことから、水の底に静かに堆積した当時の様子を想起することができる。よって水のはたらきでできた大地だと判断することが可能である。

(筆者独自調査)

## 露頭概観

## 指導形式

B



トンネルを抜けると左に駐車スペースと休憩の広場がある。農道の路線案内板の背後には一面露頭が広がっている。



ボロボロと崩れる比較的柔らかい泥岩の層が見られる。露頭に登っていく観察には適さない。



手に取った泥岩は手で割ることができる。割ることで生じる泥岩の粒を指の腹でこすりあわせ、粘土の粒の細かさを体感させたい。